

2026年5月22日

JKA 補助事業 第1回自己評価委員会議事録

事業名：2024年度酸化半導体を用いた太陽光水素生成用フルスペクトル光電極の開発
補助事業

出席者：田中 徹（理工学部教授（自然科学域理工学系），記録）
郭 其新（シンクロトロン光応用研究センター教授（自然科学域理工学系））
斉藤 勝彦（シンクロトロン光応用研究センター准教授（自然科学域理工学系））

日時：2026年5月22日（金）15:30～16:00

場所：理工学部5号館3階310室，オンライン

議題：

1. 上記補助事業の研究成果について

田中（研究代表者）から本補助事業の研究成果についての説明と質疑応答を行った。

2. 上記補助事業の研究成果に対する評価について

郭教授，斉藤准教授から，研究成果について下記の評価コメントを得た。

- ・研究は当初計画に従って進められており，目標とした数値も概ね達成されていることから全体としては評価できる。
- ・酸化ガリウム系材料とマルチバンドギャップ半導体 ZnTeO の新しい応用として今後の展開が期待できる。
- ・光電極の各層の膜厚等の改善により，HC-STH や水素生成量のさらなる改善が期待できるのではないか。

以上